令和５年度　第二学期始業式式辞

皆さん　お早うございます。

　さて、２学期が始まりました。２学期は１学期、３学期と比べて一番長いです。

行事もたくさんあります。

　校長先生は、夏休みにある本を読みました。その本には大切なことは「人、旅、本」と書いていました。

何が大切かというと、人が色々なことを教えてくれる、旅が色々なことを教えてくれる、本が色々なことを教えてくれる、ってことです。

人は本当に大切です。校長先生も今までたくさんの人に助けてもらったり力をもらったり、色々なことを教えてもらったりしました。

旅もいいです。違う場所に行くと今当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことに気付かせてくれます。色々な考え方があることに触れたりもします。

でも、今日は一番手軽にできる本のことを話したいと思います。

本、と言っても、文字だけの難しいものでなくていいです。漫画だったり、図鑑だったり、字を読むのは難しければテレビや映画でもいいです。

違う世界に連れて行ってくれますよね。がんばっている、あきらめない主人公を見たら、「自分も頑張ろう」「自分もできる気がする」って元気をもらえますよね。「自分はいけなかったな。」「こうすればよかったんだ」って気づかせてくれることもあります。

本やテレビを見て考えることが大切です。考えることで、もっともっとうまく行動できるようになります。自分にとってプラスになるように考えるくせもつけることができます。

この２学期、図書室の本も増える予定です。ぜひ１冊の本を読んだりテレビでドラマなどを見たりして、考える機会を作ってください。

では、元気で仲良くたくましく、ついきっこは２学期も楽しくいきましょう。

これで校長先生の話を終わります。